

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290700119		
法人名	有限会社 銀河		
事業所名	グループホーム 銀河橋本		
所在地	〒288-0074 千葉県銚子市橋本町1978-1		
自己評価作成日	令和4年11月22日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	令和4年11月22日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>◎経営理念「尊び 寄り添い 響き合い」の意義を踏まえ、日々入居者様に寄り添い信頼関係を築けるよう努力している。</p> <p>◎『聴き手の気持ちを大切に 愛のあるやさしい言葉で伝えよう』をスローガンとし、入居者様と共に笑顔あふれる毎日を送れるよう支援している。</p> <p>◎併設施設への日々の行き来で交流し、入居者様の楽しみや落ち着ける場所を増やし安心安全な暮らしを提供。</p> <p>◎地域医療・ご家族様との連携・情報交換を密に行い、入居者様・ご家族様のご意向を随時確認しながら入居者様の状況の変化に応じて重度化・終末期における支援を柔軟に対応しているよう強化している。</p>
--

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「グループホーム 銀河橋本」は、小規模多機能施設が併設されていると共に、同法人運営の「グループホーム 銀河黒生」も近隣にあり、施設同士が合同行事等で交流が盛んに行っている。施設が市街地にあることから、地域行事の参加・近隣商店の利用等、地域住民との触れ合いも多い。また、法人が運営するふれあい交流サロンやオレンジカフェの開催等を通じて、地域貢献も果たしており、施設活動の理解浸透にも繋がっている。現在、新型コロナウイルス感染対策により外出や地域交流の機会が減少している為、行事やレクリエーションの充実、季節感ある施設内の装飾、庭の手入れ等の敷地内活動を通して、入居者の心身や生活の活性化を図っている。施設内に複数の委員会が設けられており、全職員がいずれかの委員会に所属し運営に関わることにより、職員がやりがいを持てるような職場環境が整備されている。</p>
--

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を職員全体に周知する事が出来ており、理念を軸としたケアを提供出来るよう、日々意識してケアをしている 毎日理念の唱和を行っている。	「尊び、寄り添い、響き合い」と言う施設独自の理念を掲げ、施設内に掲示すると共に、職員独自に考案した目標も掲げており、日々の入居者の関わりの中で理念を意識しながら、ケアの実践に努めている。会議や研修等で理念や方針について話合う機会を設けていると共に、唱和を通して全職員で共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方とのつながりを意識して挨拶やお声掛けに取り組んでいる。コロナの影響で地域の方との協働活動は今はないが、普段から挨拶や話をするなど、交流をしている。	町内会の加入や日頃の挨拶等を通して地域との繋がりを大切にしている。また、定期的にオレンジカフェを開催しており、介護に関する相談やアドバイスをを行っている。その他、地域の看護学生の職場体験の受け入れを行っており、地域貢献に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症初期集中支援チームの活動や、キャラバンメイトとして地域の方の認知症への理解を深めて頂けるよう取り組んでいる		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回コロナの影響にて書面開催だが運営推進会議を行っている。 ご意見など頂いたときには、すぐに話し合い、運営に活かしている。	運営推進会議は市職員・民生委員・地域住民・入居者・家族等を構成員として、年6回開催している。会議では施設の活動報告や意見・情報交換を行い、挙げた意見をサービスの質の向上に活かしている。現在、新型コロナウイルス感染対策の為、会議は構成員と書面による意見交換を行い、議事録を配布する形で実施している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	普段より、市役所や包括支援センターの方との連携が取れている。地域ケア会議の出席や、その他の業務での協働を行えている。	市とは日頃から業務全般における相談や情報交換を行うと共に、運営推進会議や地域ケア会議を通して連携を図っている。また、市との防災協定を締結しており、災害時の協力体制も構築している。	

【千葉県】グループホーム銀河橋本

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員一人一人が身体拘束に対して高い意識が持てるよう、適宜研修を行っている。特にスピーチロックに対しての意識が強くっており、接遇の向上に繋がっている	身体拘束排除における施設方針やマニュアル及び、身体拘束廃止に関する指針が整備されていると共に、内部研修が実施されており、全職員が身体拘束排除における意義を理解している。また、身体拘束廃止委員会が定期的開催されており、身体拘束の無い支援を実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待について、適宜研修を行っている。それを活かすことで虐待のないケアを提供できている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	外部研修や施設内研修で権利擁護について学ぶ機会を設けている。個別に必要なと感じる案件は、家族を含め話し合いの場を設けている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には文書(重要事項説明書、契約書)を用いて説明し、疑問点等については納得の得られるまで説明し、理解した上で契約していただけるように心掛けている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様とは定期的に電話連絡を含め、交流することが出来ている。その際に相談事や、ご意見を頂けるようにしており、運営に反映している。	家族とは、面会や電話連絡を通して、状況報告を行っていると共に、意見や要望を確認している。また、運営推進会議や家族会でも意見等を確認しており、適切な施設運営やサービスの質の向上に繋げている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃より職員からの意見が言いやすい環境作りを行っている。管理者による面談も行って、ゆっくりと意見を伝えられる時間を設けている	定期的にグループミーティング・カンファレンスを開催し、職員からの意見・提案を確認している。また、複数の委員会が組織されており、各職員がいずれかの委員会に所属することにより、意見や思いが運営に反映する仕組みが整備されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は日頃より職員とのコミュニケーションを密にとっている。代表者による面談も行い、職場環境についても確認を行えている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナ対策の為、法人外の研修の参加は少なくなってしまうが、参加している少数で受けた研修を法人内の研修にて反映する事が出来ている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域ケア会議などに職員が交代で参加する事が出来ており、地域の同業者と交流する事が出来ている		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前に本人の意向をアセスメントしており、困っていることの把握と、安心して過ごせるようなケアを行うよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様からも困りごとの聞き取りを行っており、不安を解消しながら希望に沿ったケアが提供できるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期のアセスメント時に必要としている支援を聞き取り、その中で優先順位を考えながら対応している。主任ケアマネに相談・助言を得ながら、より良いアセスメントを得られるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者様を介護される一方の立場に置かず、協働する気持ちを持ち信頼関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は利用者様と御家族様の関係を大切にしながら、御家族様と共に利用者様を支えていけるよう関係を築いている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様が入所前に利用していた、美容室など今までのなじみのお店を使うなど、地域との関係が途切れないような支援を行っている	家族等との面会時や電話・手紙での連絡を取り持つ等、継続的な交流が出来るよう働きかけると共に、Instagramによる情報発信を行う等、相互の思いを大切にしている。また、散歩・ドライブ・近隣の理容室や美容室の利用を通して、地域との馴染み関係継続を図っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の性格や生活歴などを把握し、利用者様同士で協力し合っ、一つの物を完成させるなどの取り組みを行っている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院などで契約が終了した方などは、定期的に病状確認、退院後の支援が出来るように御家族様、ご本人様と連絡を取っている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や御家族様より、暮らしに対する希望や意向の聞き取りを行い、日々のケアの中で、何を望んでいるのかを考えながらケアにあたっている	入所前に本人及び家族から意向・生活歴・身体状況を確認すると共に、医療機関や他のサービス事業所から情報を把握している。入所後も、本人及び家族の意見や意向を随時確認しながら、本人本位の支援に繋げている。また、日頃の気付きを大切にしており、新たな情報等については、会議や申し送りノートを活用により、全職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初期のアセスメント時に生活歴や馴染みの暮らし方などを聞き取り行っている。サービス利用の経過などは本人の同意の元、利用していたサービスからの情報提供をもらっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェックなどから健康状態の把握に努めている。定期的カンファレンスを行い、状態の把握に努めている		

【千葉県】グループホーム銀河橋本

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にカンファレンスを行い、本人、家族の意向を反映しながら、ケアに当たる職員からの現状報告をもとに、本人がより良く暮らすための課題やケア方法を導いている	本人・家族の意向を確認しながら、会議で検討し、介護計画を作成している。また、モニタリング及びカンファレンスは毎月実施し、必要に応じて介護計画の見直しを行っており、入居者一人ひとりの現状に即した介護計画に基づく支援に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個人別の介護記録へ様子や気づきを記録している。重要なケア方法はキーワードとして記録を行い、モニタリングに活用している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に合わせて、柔軟な対応を行うことが出来ている。その日の体調に合わせた1日の予定など、本人に寄り添ったケアを提供できている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人一人に必要な地域資源を把握し、本人が安全で豊かな生活が出来るよう活用している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族の希望に添った受診支援が出来ている。状態変化時や受診時にはかかりつけ医へ普段の様子などの情報提供を行っている。受診の難しい方は本人や家族の希望により訪問診療を活用している	提携病院及び希望の医療機関への受診が可能となっていると共に、定期的に内科医師の往診が行われている。また、必要に応じて訪問歯科が実施されており、適切な医療支援体制を構築している。提携病院とは、緊急時・急変時に24時間体制で協力が得られるようになっている。看護師が常勤で配置されており、健康管理・服薬管理・医療面おける相談や対応等も行っており、入居者及び家族の安心に繋がっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は日々のケアの中で確認した気づきや変化等を看護師へ報告し、その結果によって主治医への相談をする体制となっている。定期受診についても看護師が中心になって介護職と連携しながら行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者と連携をとり、入退院時の情報共有を行っている。退院時のカンファレンスにも参加しており、スムーズな受け入れが出来ている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向け、利用者様や家族様と適宜今後の話し合いを行い、意思の確認を行っている。ACPIに対する専門のチームを立ち上げ対応している。	重度化・終末期における施設方針を明文化すると共に、契約時に家族に説明し、延命希望同意書も交わしている。重度化・終末期においては、全職員が入居者・家族の意向を確認しながら、安心して納得の得られる支援方法の検討・統一に取り組んでいる。日頃から提携病院の医師や関係機関等と連携を図り、その時々状況の変化やニーズに応じて適切な支援が行えるよう体制を整えている。また、現在アドバンス・ケア・プランニングの専門チームを立ち上げており、本人・家族と共に終末期のあり方を検討している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生に備えてマニュアルの整備や研修を受講している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の対応マニュアルを整備しており、普段より小さな地震でも行動を起こし、いざという時のための備えをしている	災害時の対応マニュアルの整備や消防避難訓練を通して、状況に応じた避難方法を身に付けている。また、市とは防災協定を締結しており、災害時の支援体制の連携が図られている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々プライバシーの保護、人格の尊重を意識しながらの対応を行っている、入浴や排泄の介助時についてもプライバシーの保護に注意しながら行っている	プライバシーの保護に関するマニュアルの整備や研修が実施されており、プライバシーに対する意義や理解を全職員が共有している。個人情報については、個人ファイルの取扱目的・保管場所・写真掲載の承認等、個人情報に配慮した対応に努めると共に、研修や会議等で周知・徹底を図っている。	

【千葉県】グループホーム銀河橋本

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話や関りから、本人の希望をくみ取り、受け入れ、自己決定が出来るように促しながら、本人の希望に添う生活が送れるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活の中でのその人らしく生活が出来るよう、一人一人のペースに合わせた生活の支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族からの協力を得ながら、その人の趣味に合わせた身だしなみを支援している。 通い慣れた美容室などでカットをお願いしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の嗜好に合った差し入れなどを御家族様の協力の元差し入れなどをして頂き、好みに合わせた物を提供している	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備から後片付けまで共同で行なっている。調理専門職員を配置し、入居者の希望・身体状況・嗜好・旬の食材を取り入れる等、状況に応じた食事提供が行われている。定期的に行事食・誕生会等を企画・実施し、一人ひとりの嗜好や身体状況に配慮しながら、調理方法・盛り付け・提供方法等に工夫を凝らし、食に対する様々な楽しみを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量のチェックシートを活用し、記録している。気になる点はカンファレンスにて話し合い、その人に合った提供方法で対応できている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に職員が付き添い、口腔ケアを実施。一人一人の口腔ケアに適した道具も使用している。義歯の洗浄管理や口腔内の確認を行っている。		



【千葉県】グループホーム銀河橋本

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックシートを活用して、一人一人の排泄パターンなどを把握しており、訴えのない方も定期的に誘導することで、自立に向けた支援を行っている	排泄チェックリストを活用しながら、一人ひとりの排泄パターンの把握に努めると共に、適切な声掛け・トイレ誘導を行う等、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。また、水分チェック表の活用や献立の工夫、運動や散歩の実施、医師や薬剤師との連携等により、適切な排泄習慣の確保にも努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一日通していつでも水分が摂取できる用意をしている。好みに合わせた飲み物も御家族様の協力の元、差し入れてもらっている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人一人の状況に合わせた、安全な入浴方法の提供が来ている。 拒否のある方などは、時間や曜日を変えるなどして柔軟に対応できている	入居者一人ひとりの希望や身体状況に応じて、安全かつ安心した入浴支援を行っている。また、必要に応じて、足浴・清拭等を実施し、清潔保持に努めている。浴槽は大浴場並みの大きさが確保されており、温泉気分を味わう事が出来ると共に、機械浴槽も設置されている。季節に応じて菖蒲湯や柚子湯等を実施しており、入浴の楽しみを支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活パターンに合わせた休息をして頂いている。何時でもご自分の居室にて休むことが出来、体調に合わせた対応が出来ている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員がいつでも利用者様がどのような薬を服用されているのか確認できるように、内服情報をファイルしてある		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の状況に合わせて、手作業や、壁飾りなどの作成を会話をしながら一緒に行っている 家事仕事を依頼し感謝の言葉を伝えている		

【千葉県】グループホーム銀河橋本

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	不定期にてドライブや花見などの外出支援を行っている。 建物の周りの散歩や、近所のお花摘みなどは定期的に行っている	散歩やドライブを通して、日頃から戸外での楽しみを支援している。現在、新型コロナウイルス感染対策により外出頻度が減少している為、行事やレクリエーションの充実、季節感ある施設内の装飾、庭の手入れ等の敷地内活動を通して、入居者の心身や生活の活性化を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	受診や外出時の支払いなどを職員と一緒に 行う支援をしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでも使用可能となっており、手紙が届いた際には、職員と一緒に返信を書くなど、つながりの切れない支援を行っている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁飾りは季節に合わせた物を飾っており、季節を感じられる。皆様が居心地のいい環境を提供できるように、日頃より心掛けている	施設内はバリアフリー環境が整っており、入居者の安全面に配慮した設計となっている。共有スペースには、ソファ・椅子等を設置しており、穏やかに落ち着いてくつろげる環境整備がなされている。また、カラオケ機を利用し、歌や体操を楽しむ等、入居者へ楽しみ事の提供も行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室は一人一人個室となっている、共同のスペースではそれぞれの方が自分のペースで過ごせるよう、その時に合わせた席の配置などを行っている		

【千葉県】グループホーム銀河橋本

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れたベッド、寝具、タンスを持ち込んでもらい、安心できるようにしている	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの家具や写真等を自由に持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活が出来るよう配慮されている。また、好み・生活歴・身体状況に応じて、ベットや布団等の寝具の選択が出来ると共に、居室を自由自在にアレンジする事も可能となっており、生活スタイルに合わせた一人ひとりの個性が表れた居室となっている。各居室にエアコン・換気扇が設置され、適切な空調管理がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日頃より環境整備を行っており、皆様が安全に過ごせるように配慮している。 出来ることを最大限活かせるように、職員間でケア方法を共有している		